

住民の意思を尊重して各地の医療提供体制を維持し、総合水沢病院は現在地に改築を

日本共産党奥州市議団の「市民アンケート」にもとづく第2次申し入れ



日本共産党奥州市議団は、1月19日、市民アンケートに寄せられた声を基に、緊急性の高い、新市立病院建設問題とオミクロン株が流行する新型コロナウイルス感染症対策について小沢昌記市長に申し入れを行いました。(写真左)

市議団が申し入れた事項は次の通りです。

一、新市立病院建設に関することについて

①まごころ病院、前沢診療所及び衣川診療所については、住民の意思を尊重し、医療提供体制を維持すること。

②新市立病院の建設地は、総合水沢病院敷地内及び隣接地とすること。

③医師不足の解消、産科・小児科等医療体制を充実すること。

二、新型コロナウイルス感染症対策に関すること

④早急に妊婦健診や産後健診のできる体制を構築すること。

①3回目のワクチン接種を円滑にすすめること。

②PCR検査は、いつでも、だれでも、受けられるようにすること。

③発熱外来の再構築をはかること。

病院改革を止めるわけではない

小沢昌記市長は、申し入れに対して以下の見解を示しました。

●新市立病院建設について

市立医療機関の改革をやるわけではない。高額医療機器は共同利用をすすめる。2月議会中に方向性を示すことに変わりはない。

日本共産党市議団の一般質問は次のとおりです

○質問は1月28日午前11時頃から

- 1、国民年金で入れる特別養護老人ホームの整備について
- 2、修学旅行等における地元バス事業者の活用について



今野裕文 議員

○質問は1月28日午後1時頃から

- 1、奥州市における気候危機の影響と、その対策・計画について



瀬川貞清 議員

○質問は1月31日午前10時から

- 1、衣川地域施設の民間運営・移譲とまちづくりについて
- 2、奥州きらめきマラソンについて



菅原明 議員

○質問は1月31日午後3時半頃から

- 1、地域医療と新市立病院建設・子どもを産める地域医療について
- 2、白抜き農地の活用について



及川善男 議員

○質問は2月1日午前10時から

- 1、国民健康保険税の引き下げについて
 - 2、地域経済の活性化について
- 経営破綻の影響と対応について
自営業者の支援について



千葉敦 議員

●妊婦・産後健診について

妊婦健診は地元でできる。分娩は北上や一関の病院となる。臨月までの産前ケアの場は提供していきたい。助産師外来を設置し、市内で普通分娩できる体制づくりについては難色を示しました。

●3回目のワクチン接種

60才以上の高齢者には日時指定を行ない、2月から順次実施する。国から順調にワクチンが提供されることとが前提だが、モデルナ製であればスムーズにすすむ見通しである。

●発熱外来の設置について

保健所から要請されれば、検討する。現状では、市内の医療機関で対応ができています。

議員団からは、「発熱患者への対応で、誠意に欠けることがあった」として、丁寧な対応を求めました。



日本共産党
参議院議員
紙智子

1月25日

トンガ沖噴火津波 被害対策を

トンガ沖噴火津波によるワカメ養殖への被害調査で25日、いわぶち友参議院議員とともに塩竈市へ。天下みゆき宮城県議、塩竈市議の曾我ミヨさん、伊勢由典さん、小高洋さんも同席。塩竈市魚市場、塩竈市漁協、県漁協第一支所から被害状況と課題、要望をお聞きしました。その後市役所を訪ね、佐藤光樹市長らと意見交換をしました。



右から 紙智子議員、岩渕友議員
(写真はフェイスブックより)

2010年にチリ地震と津波による被害、その後2011年の東日本大震災による大きな被害、そして今度はトンガ…。経営を諦める人が出ないように市、県、国が連携して取り組むことが大事だと思います。